

# 子どもの心の診療ネットワーク事業 平成23年度事業報告 【山梨県】

第7回こどもの心の診療拠点病院の整備に関する有識者会議

平成24年7月6日

山梨県障害福祉課 吉留慶子

◎北病院  
◎あけぼの医療福祉センター

◎こころの発達総合支援センター  
◎精神保健福祉センター



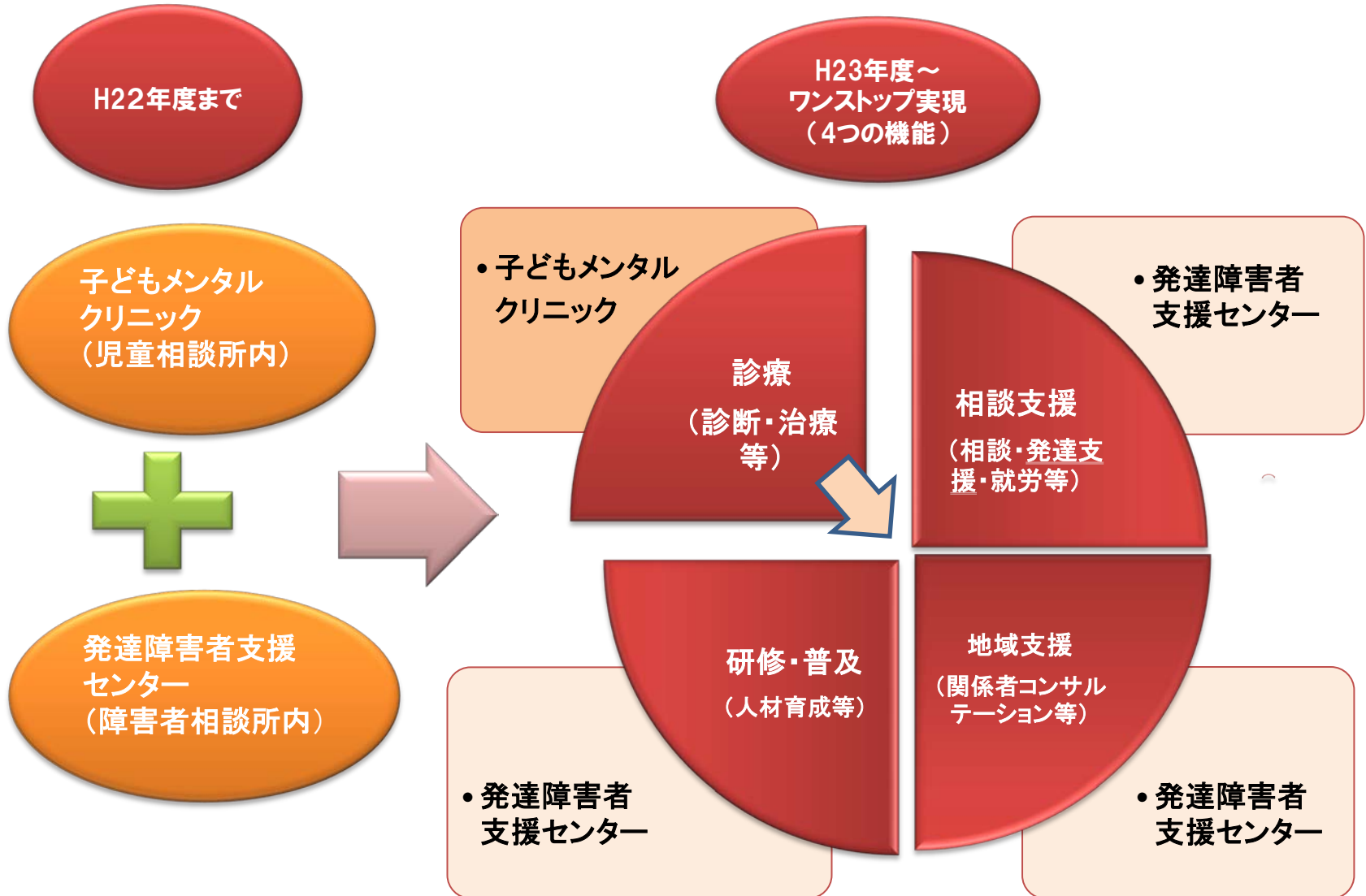
富士ふれあい  
センター

都留児童相談所  
(都留クリニック)

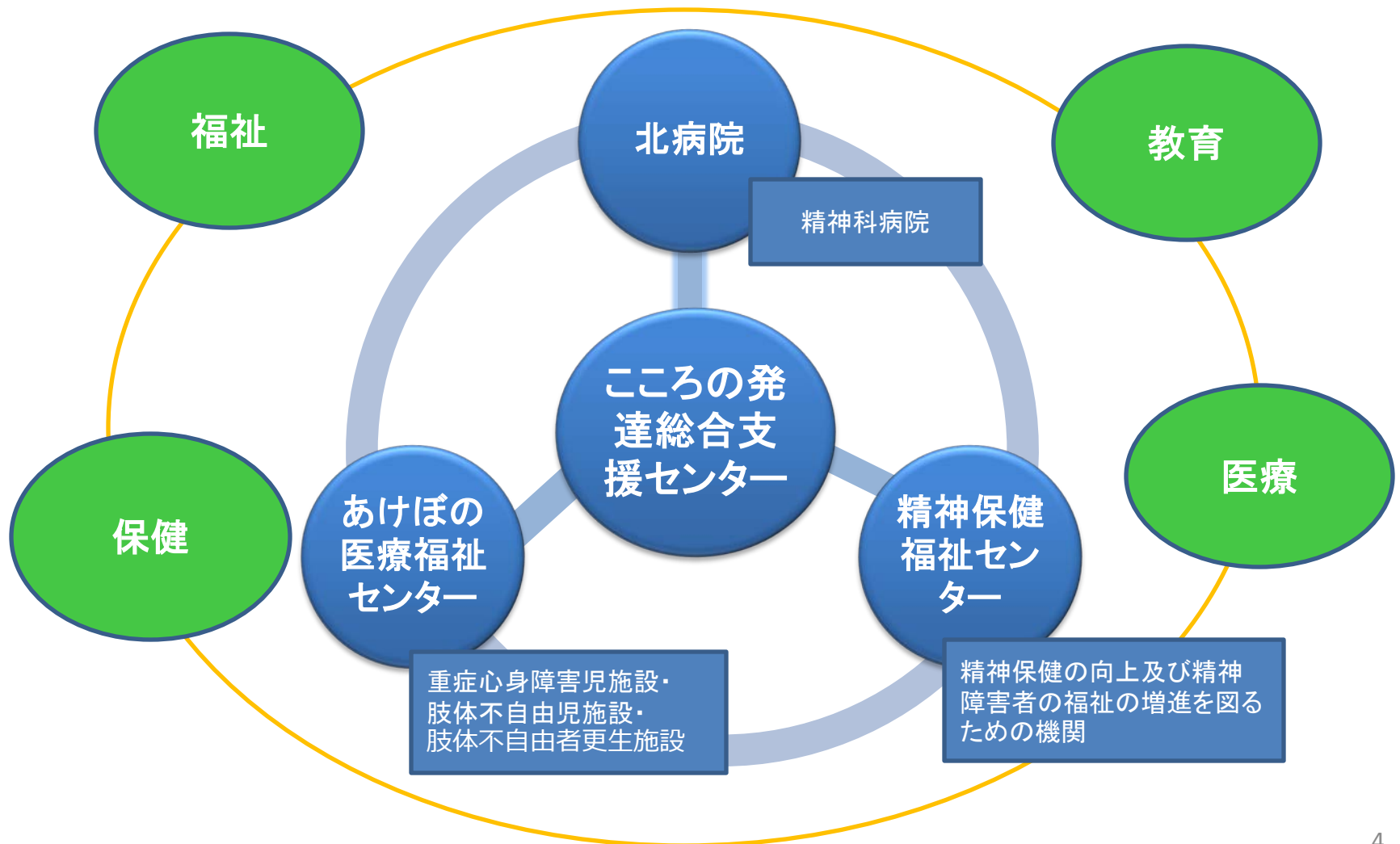
◎は拠点機関

面積: 4465.3km<sup>2</sup> (全国第32位) 市町村数: 27  
人口: 857,690人(H23.10.1)  
出生数: 6,651人 出生率7.8(全国8.5)  
(H22年人口動態統計)  
19歳以下の人口160,355人(18.6%)  
(H22年度国勢調査第1次基本集計)

# こころの発達総合支援センター



# 子どもの心の診療ネットワーク



# 子どもの心の診療支援（連携）事業

事業内容	1. 診療連携会議	年1回開催
	2. 診療体制の強化	こころの発達総合支援センターに 精神科医1名心理士1名配置
	3. 合同事例検討会	病院・学校・地域関係者による事例検討会 高校1回 中学1回
評価	1. 児童精神科医・小児科医・精神科医の診療連携の促進 2. 心の問題を持つ症例に対し、相談支援及び診療を実施 <平成23年度実績> 【相談】延べ:4, 292件 新規:555件(H22年度の4.5倍) 【診療】延べ:1, 408件 新規:279件(H22年度の1.4倍) 3. 関係者間の理解と連携の強化	
今後	平成24年度は平成23年度同様に職員の配置を行い、診療・相談を実施し、会議や事例検討会を開催する	

# 子どもの心の診療関係者研修・育成事業

事業内容	診療対応力研修	年2回実施 医師及び関連職種 123名参加
	先進地視察研修	京都市児童福祉センター
	心診療職種専門研修	年2回実施 幼児期の支援に関する研修 関係者328名参加 県民に対する公開シンポジウム 422名参加
	思春期症例カンファレンス	年6回実施 県立北病院思春期病棟に入院している症例について、拠点機関の医師を中心にした症例検討
	人材育成	後期臨床研修医・精神科医・小児科医の研修
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修により思春期のこころの問題に関する早期発見・早期支援に結びつける知識や技術の向上につながっている</li> <li>2. 先進地視察研修により、医師及び保健福祉等関係職員のさらなる専門性の向上につながっている</li> <li>3. 症例検討をとおり専門職としての資質の向上につながっている</li> </ol>	
今後	平成24年度も同様の規模での実施を計画している	

# 子どもの心の診療関係者育成事業

## 【県立北病院】

1. 対象：後期臨床研修医 2名
2. 内容：講義・カルテ・回診を介した指導  
関係機関との連絡調整会議等への参加 等
3. 成果：後期臨床研修医が児童精神科医療に対する理解を促進し興味を深める機会となっている

## 【こころの発達総合支援センター】

1. 対象：精神科・小児科医
2. 内容：センターの診療・相談への医師陪席・見学
3. 今後：臨床研修医、医学部学生の実習受け入れ、センターの見学拡大、診療陪席など増加傾向  
研修プログラムを作成していく予定

# 普及・啓発事業

事業内容	子どもの心に関する講演会とシンポジウム	年1回開催 一般県民、関係者等 153名参加
	図書の購入・貸出し	こころの発達総合支援センターに図書を整備し、関係機関や当事者・保護者等に情報提供
	情報提供	拠点機関において、ホームページを作成し情報提供 県の広報誌等への掲載
評価	一般県民に対し、情報を伝える機会となっている。	
今後	平成24年度も同様の実施を計画している	



# 成果

## 1. 連携の促進・強化

- 児童精神科医・小児科医・精神科医の診療連携
- 教育、保健、福祉、医療の連携
- 拠点機関の連携

## 2. 知識・技術の向上

## 3. 普及啓発の推進

# 今後の展望

早期発見と早期支援、ライフステージを通して一貫した支援

